



▲大人顔負けの早さでカルタをとる保育所児

ホ カルタ会 ールに響いた元気な「はい」の声

1月19日は、明和保育所のカルタ会の日。保育所児全員がホールに集まり、全部で8グループに分かれカルタとりが行われました。みんな、この日のために練習してきたのか、すばやい動作で正確にカルタに手を伸ばしていました。表彰式では、グループのなかで一番多くとった順に1等から3等までワッペンが渡されたほか、がんばり賞もありました。



▲思い思いの釉薬をぬり作品を仕上げる参加者

世 手びねり陶芸教室 界に一つだけの力作

1月15、16、29日に朝日地区センターで第1回手びねり陶芸教室が開かれ、5名が参加しました。最初はろくろを使い、材料の土を細長くこねながら重ね合わせ、湯のみやマグカップなどの器に形を整えていき、その後、出来た器に鉄や銅、コバルトなどを含んだ釉薬をぬり仕上げました。窯で焼く時間は約10時間、どんなオリジナル作品が完成するか、皆さん楽しみにしている様子でした。

便 パソコン教室 利な機能を使いこなそう

1月25日から朝日地区センターでパソコン教室が開かれ、13名が参加しました。参加者は、ワープロソフトのワードと、表計算ソフトのエクセルを学びました。ワードでは案内状などの作成で基本操作を覚えながら、写真や図形を入れる機能などを学び、エクセルでは集計表の作成から計算式の設定などを学びました。全7日間の日程で行われました。



▲スキルアップ目指し真剣に取り組む参加者

只 第10回ブナセンター講座 見の自然から生まれた民具

講師に、只見の自然に学ぶ会代表の新国勇さんを迎え、1月16日に、ただみ・ブナと川のミュージアムで第10回ブナセンター講座が開かれました。町内はじめ会津若松市などから約20名が参加され、主に生業で使われた、農具・用具や衣類と只見の民具の素材などについて、スライドや、実際に民具を見ながら説明を聞き、また問題集を解いたりして和やかに楽しく講座が行われました。



▲民具の形や素材を確かめる参加者

先 只見の民具とその素材展 人たちの知恵や工夫を展示

古くから受け継がれてきた数々の民具が展示、紹介されている「只見の民具とその素材展」が、ただみ・ブナと川のミュージアム2階ギャラリーで開かれています。只見の先人たちの知恵や創意工夫が結集され、作り出されたソリやかんじき、コーシキ、など数々の民具が展示。名称や使い方などが分かりやすく解説されています。この特別展示は2月28日までです。



▲貴重な民具がならぶ展示スペース

大 体験・だんごさし きなミズの木にだんごの花



▲思い思いに手づくりのだんごをさす参加者

ただみ・ブナと川のミュージアムで1月15日に、だんごさしの体験イベントが行われ、15人が参加しました。だんごさしは、豊作を願う小正月の行事、もち米やうるち米の粉をねり、ゆでただんごに赤や黄、緑の食紅でカラフルに色づけした後、2mを超す大きなミズの木にみんなでさしました。このだんごさしは、2月に開かれる只見ふるさとの雪まつり当日まで飾られる予定です。

巧 つる細工教室 みな技を習得しよう



▲只見の貴重な民芸品を作り出す参加者

明和地区センターでは、毎週金曜日につる細工教室が開かれています。1月28日は11名が参加され、見事な手さばきで、くるみの皮を使った手さげバッグや、またたびを材料としたざる、ひろろ細工の札束入れなどを編んでいました。真剣な中にも時おり笑い声が聞かれるなど、和やかな雰囲気につつまれ、楽しい時間が過ぎていました。